

スタジオ通信

2015～2016

5月 10月

<編集・記/白奥 薫>

2015

●オペラ「ヘンゼルとグレーテル」に出演

(2015.6.6 熊本県立劇場)
(2016.9.11 熊本県立劇場)
ラスカーラ・オペラ協会
「ヘンゼルとグレーテル」
二幕、夢の中に登場する天使役で出演、舞台に花を添えました。



舞台装置の前で(2016年9月)

*

●マーティン・フリードマン先生、特別レッスン

(2015.8.22～24、2016.8.22～24 東部教室)
1985年の初来日から昨年で30年を迎えたマーティン・フリードマン先生(前キーロフバレエアカデミーオブワシントンD.C. 校長)の特別レッスン。小学生から研究生まで55名が受講。楽しく格調高いマーティン先生のレッスンを深く体感。今年も大盛況となりました。
(レッスン風景2015年8月)



*

●美穂先生 結婚おめでとう

相良美穂先生は昨年9月に西山尚呂さんとめでたく結婚。今年6月に無事女の子(和杏ちゃん)を出産。只今、ご主人のお仕事で北九州にお住まいです。

●合志南小学校にて学校公演

(2015.10.16 午前の部/午後の部
合志南小学校体育館)
ダンサー13名に、ピアニスト、体験指導、制作、音響、照明、運搬など、一行22名が合志市立合志南小学校で公演を行いました。花のワルツ、バレエのおはなし、マイム、体験レッスン(四羽の白鳥)、くるみ割り人形よりお菓子の国のディヴェルティスマンを全校児童800名に披露し、会場は大いに盛り上がりました。生徒の皆さんからのバレエに対する真摯な感想文に私達は大感激。大きな励みとなりました。

*

●オペラ「カルメン」に出演

(2015.10.30・31 市民会館崇城大学ホール)
ラスカーラ・オペラ協会 オペラ「カルメン」に熊本バレエ研究所から20名が出演。「第二幕イリアスパスティアの場」、「第三幕への導入アラゴネーズ」のダンスシーン、闘牛場入場の闘牛士の行進に出演しました。



*

●八代市文化祭

(2015.11.1 八代ハーモニーホール)
(2016.10.29 八代ハーモニーホール)
八代市文化祭に八代教室が出演。昨年は「眠れる森の美女」より4曲を、今年は「ラ・ロサ・デ・バルセロナ」より5曲を披露しました。

*

●冬期講習会 in 別府

(2015.12.28・29 別府ビーコンプラザ)
今回はオーストラリアバレエ団のプリンシパルバレエミストレスの要職にあるフィオーナ・トンキン女史を招聘。児童科Cクラス3名が受講。



●熊本バレエ劇場40年記念《特別公演》「眠れる森の美女」

—中国・上海市舞蹈学校を迎えて—

(2015.8.2 熊本県立劇場)

熊本バレエ研究所創立65周年・熊本バレエ劇場40年記念行事の一環としてかねてより親交のある中国・上海市舞蹈学校の協力を得て、1995年以来5年ごとに実施する記念公演を行いました(指揮/福田隆、演奏/熊本ユースシンフォニーオーケストラ)。上海市舞蹈学校副校長陳家年先生、バレエ科科長の蔡麗君先生、5年前もデジタル王子を好演した上海戯劇学院舞蹈学院の袁岸璞(ユアンアンブ)さんと4人の学生、一行7人を迎えた日中交流の舞台は大きな成果をあげました。

●上海市舞蹈学校へ研修

(2015.5.3～7 中国・上海市舞蹈学校)
8月公演「眠れる森の美女」出演の主要メンバー、スタッフ14名で中国・上海市舞蹈学校を訪問。研修と「眠り」のリハーサルを行いました。橋本文乃さんは熊本県芸術文化振興会の援助を、吉留諒さんは熊本市人づくり基金の援助を受け、4日間終日のレッスンとリハーサルは実りある研修となりました。



中国・上海市舞蹈学校での「眠れる森の美女」リハーサル風景

2016

● 伴 征子、第7回 香梅 アートアワードを受賞

(2015.11.7 熊本ホテルキャッスル)

「お菓子の香梅」が企業メセナの一环として長年にわたり熊本で創作活動続ける女性芸術家を支援する名誉ある芸術賞をいただきました。

お菓子の香梅 ハイティートークの会 香梅アートアワード贈賞式



「香梅アートアワード」授賞式のあと、株式会社お菓子の香梅・副島隆会長と

＊

● 八代ロータリークラブ合同新年会に出演

(2016.1.8 セレクトロイヤル八代)

八代教室16名が八代4ロータリークラブ合同新年会に出演。「眠れる森の美女」より4曲を披露。集いに花を添えました。



＊

● ジュニアバレエフェスティバル in 宮崎

(2016.3.27 宮崎市民文化ホール)

日本バレエ協会九州南支部ジュニアバレエフェスティバルが宮崎で開催され、児童科を中心に45名が出演。恒例の「レ・プティ・リアン」(音楽/W.A.モーツァルト・振付/伴征子)を披露しました。



● 国の内外で活躍のOB・OGが熊本地震のお見舞いに特別レッスンを開催。

① 唐杉さやかさんバレエレッスン

(2016.5.14・15・21・22・28・29)

アメリカ・コロラドバレエ団で長年にわたり、ソリストをつとめ、コロラドバレエアカデミーの教師として活躍した唐杉さやかさんが6日間にわたり特別レッスンを行って下さいました。児童科クラス以上の研究生が受講しました。さやかさんの基礎を中心として丁寧な指導を受け、研究生はぐんぐん上達していきました。

② 春野雅彦さん、濱本泰然さん、吉留諒さん パ・ド・ドゥクラス、ボーイズクラス

(2016.6.24~26)

東京シティ・バレエ団の春野雅彦さん、濱本泰然さん、入団したての吉留諒さんら3人が揃ってパ・ド・ドゥクラス、ボーイズクラスを行いました。ボーイズクラスでは先輩のジャンプや回転に受講した男子は目をシロクロさせ意欲充分。パ・ド・ドゥクラスは児童科Dクラスから研究科Dクラスまでが受講。初めて男性と組んで踊る研究生も多かったが、3人のOBの丁寧で優しい指導を受け、とても有意義な時間となりました。



③ 藤沢拓也さんコンテンポラリーレッスン

(2016.7.9)

Noismで活動したのち、ドイツ、そして現在スウェーデンのGöteborgs Operans Danskompagniで活躍中の藤沢拓也さんはコンテンポラリーのレッスンを。研究科AクラスからDクラスまで受講。身体の動きの可能性を再発見したり、自分で踊りを作るなど、刺激を受けたレッスンになりました。

④ 福島昌美さんコンテンポラリーレッスン

(2016.7.15・16)

現在ドイツ・ノードハルザースタットデバンドシアターで活躍の福島昌美さんもコンテンポラリーのレッスン。児童科Cクラスから研究科Dクラスまで幅広く参加。身体をつかったゲームと、昌美さんの作品「躰の上の二つの思想」の動きを体験。昌美ワールドで大いに盛り上がりました。



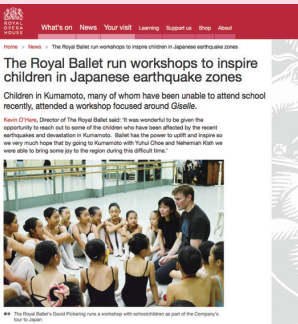
●英国ロイヤル・バレエ団 熊本訪問

(2016.6.27)

世界最高峰の英国ロイヤル・バレエ団は福岡公演前の2日間、熊本大地震で被災した子どもたちのために「お見舞いワークショップ」を開催。(公財)熊本県立劇場が行う「アートキャラバンくまもと」事業の一環として熊本バレエ研究所東部教室でも「ワークショップ」が開かれ、エコーレバレエクラシック、スワンバレエスクールの生徒さんも一緒に50名ほどが参加、

この様子はロイヤル・バレエ団のHPにも掲載されました。又6月29日の福岡公演リハーサル見学にも招待を受け、熊本のバレエ団体から90名が参加しました。

◀東部教室でのワークショップがロイヤルバレエ団のHPに掲載。



ロイヤルバレエ団「ジゼル」福岡公演でのリハーサル見学会に参加。

●「バレエ検定」が熊本で開催

(2016.8.21 くまもと県民交流館パレア)

ひそかに人気上昇中の公益社団法人 日本バレエ協会「バレエ検定」(3級・4級)が初めて熊本で開催されバレエ愛好家24名が挑戦。検定後のレクチャーは指揮者の福田一雄氏。「くるみ割り人形」や「白鳥の湖」「ドン・キホーテ」などの誕生秘話の解説に受講生も興味津々。充実した講習となりました。

*

●上野百夏さんコンクールでファイナリストに!

(2016.8.16・17 久留米シティプラザ)

東部教室研究科Bクラスの上野百夏さんがClassical Ballet Competition 第1回 2016 福岡に出場。ジュニアB部門でファイナリスト賞を受賞しました。



島崎先生も絶賛の魂を揺さぶる感動的なステージに会場は大喝采。(撮影:スタツフ・ミス)

●「全国合同バレエの夕べ」に出演

(2016.8.3 東京・新国立劇場オペラパレス)

公益社団法人 日本バレエ協会 平成28年度「全国合同バレエの夕べ」に熊本の4団体が九州南支部を代表して出演。熊本バレエからは11名が出演しました。島崎徹氏作「The Absence of Story (音楽/ブラムス)」は昨年12月から振付に入り、リハーサルも順調に進みましたが、4月の大地震に遭遇。一時は出場できるのか不安でしたが、各地からお寄せいただいたお見舞い・お励まし・カンパに勇気付けられ、熱心なリハーサルを続行。「ありがとう、おかげさまで元気です」を胸に全員が心をひとつに踊る姿は感動的なステージとなり会場は割れんばかりの拍手でいっぱい。出演者・関係者全員の大きな宝となりました。

*

●はじめてのバレエ体験会

(2016.8.28 東部教室)

バレエがはじめての方を対象に幼児クラスと大人クラスの体験レッスンを行いました。



*

●平成28年度 尚絅コンサートに出演

(2016.10.28 熊本県立劇場)

尚絅高校3年在学中で八代教室研究科Dクラスの橋本文乃さんは恒例の尚絅コンサートでこんぺい糖の精のヴァリエーションを披露。同級生一同「素晴らし!」と大拍手でした。

第66回 熊日賞贈呈式



●伴 征子、第66回熊日賞受賞

(2016.7.7 ホテル日航熊本)

学術、教育、文化、スポーツ、社会などの各分野で長年にわたって活躍し、地域の発展などに貢献した個人や団体などを顕彰する熊日賞が、当研究所代表の伴 征子に授与されました。大きな災害に直面した中、明るいニュースとなりました。

平成28年(2016年) 6月26日 日曜日 熊本日日新聞

第66回 熊日賞受賞者決まる



伴 征子氏 熊本バレエ研究所代表



満屋 裕明氏 国立国際医療研究センター 東京研究所長

第66回熊日賞を満屋裕明氏(学術)、伴征子氏(芸術)に贈呈いたします。同賞は学術、教育、文化、スポーツ、社会などの各分野で長年にわたって活躍され、地域の発展などに貢献された個人や団体に熊本日日新聞社が贈っています。贈呈式は7月7日(木)午前11時から、熊本市中央区のホテル日航熊本で行い、顕彰盾と副賞50万円を贈ります。【23日に受賞者の横顔】

伴 征子氏は、8歳で三橋蓮子舞踏研究所へ入門。1968年、23歳で熊本バレエ研究所の3代目代表に就任以来、バレエの普及と若手の育成に努めている。69年から「サマーバレエコンサート」を開始。75年には「熊本バレエ劇場」による公演活動を始め、代表演目であるくるみ割り人形は、これまで84ステージを数え、熊本冬の治療の研究に大きな成果を取っている。2007年慶應義塾、15年日本女子学院、16年8月に熊本大学定年退官。4月から同特別招聘教授、現職などを兼任。65歳。

満屋 裕明氏は、1975年、熊本大医学部卒。博士号取得後、米国立衛生研究所に留学。上級研究時代の85年、異初となる種類のエリス治療薬の発見、開発に成功し、エリスに対する化学療法法の基礎築いた。97年に熊本大医学部教授に就任してからも、日々を歩みながら、多剤併用療法の開発、新薬の開発などを続け、エリス治療の研究に大きな成果を取っている。2007年慶應義塾、15年日本女子学院、16年8月に熊本大学定年退官。4月から同特別招聘教授、現職などを兼任。65歳。

*

●第5回 上海国際バレエコンクール視察

(2016.8.10・11 上海オペラハウス)

伴征子、原武博之、研究科Cクラスの坂田温朗さんは決選とガラ公演を視察。2010・2015年熊本バレエ劇場「眠れる森の美女」でおなじみの袁岸璞(ユアンアンブ)さんが堂々の一位を獲得。一段と磨きのかかった踊りを披露。同コンクールは今後2年毎に開催の予定(次回は2018年)。